

別表1

令和5年度社会教育主事講習（一部科目指定講習）カリキュラム概要

科目名	単位数	月 日	時 間	時間数	内容・テーマ	詳細	講師予定者の職・氏名
社会教育経営論	2	8月10日(木)～8月20日(日)	オンデマンド	2.5	社会教育の学習課題をめぐる動向	社会が大きな変革期を迎えている今日、社会教育も新たな役割を期待されている。本講義では、現代的な課題を踏まえつつ、社会教育の基本・原理を学びなおすことを目的に、島根・広島・沖縄で過疎等の課題を抱えながらも活力ある実践等から、社会教育を再設計する手がかりを探る。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		8月17日（木）	09:00-12:00	3.0	社会教育における経営とはなにか	社会教育は人々の主体的な学びを支えるとともに、人々のつながり・仲間づくりに基づく地域づくりや社会におけるさまざまな課題と向き合ってきた。社会の変化に伴い、社会教育や地域づくりマネジメントがいかに必要となってきたのか、そして社会教育に新たに求められる経営とは何かを考察する。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		8月17日（木）	13:00-16:00	3.0	社会教育行政の戦略と経営	大都市や広域連携、学校区における地域組織や社会教育関係団体などの地域の特性を捉えた上で、自治や民主主義を踏まえ、社会行政の経営戦略、社会教育を推進する地域ネットワークの形成などについて理解を深める。	北九州市立大学文学部教授 恒吉 紀寿
		8月17日（木）	16:00-17:30	1.5	社会教育行政と地域活性化	地域を基盤に展開する社会教育は、地域課題の解決や地域活性化の使命を本来的に有している。これまで社会教育行政が果たしてきた学習機能を再考し、地域社会の持続可能性と地域自立における社会教育を通じた望ましいあり方とは何かについて考察する。	北九州市立大学文学部教授 恒吉 紀寿
		8月18日（金）	09:00-12:00	3.0	家庭・学校・地域の連携・協働	家庭・学校・地域の連携を推進する政策動向を歴史的におさえ、今日の地域学校協働の理念を理解する。さらに「社会に開かれた教育課程」を標榜する学校づくりと地域づくりの好循環を促すための連携・協働のあり方、社会教育主事の立ち位置についても考察する。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		8月18日（金）	13:00-14:30	1.5	地域のネットワーク形成と社会教育	家庭・学校・地域との連携・協働をはじめ、福祉、働き方、環境、防犯や防災など様々な地域課題解決に関して、自治体や学校、企業、NPOなどの各種ステークホルダーとの連携・協働を図るために必要なプレゼンテーション・ファシリテーション・コーディネート能力を身につける。	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人
		8月18日（金）	14:30-16:00	1.5	社会教育の経営・広報戦略	社会教育計画の企画・立案・運営を、持続可能なPDCAサイクルを回すことで、参加者とともに行う評価や改善にも結び付けられるよう、参加型のプロジェクトマネジメント技術・シビックプライドを涵養し、社会教育の意義をPRする力を身につける。	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人
		8月18日（金）	16:00-17:30	1.5	暮らしとともにある学びをデザインするワークショップ	これまでの学習内容を振り返り、暮らしのなかの「社会教育なるもの」を生かしつつ、学びを核とした多様性ある地域づくりのあり方・手法をワークショップ形式で創造する。	熊本大学大学院先端科学研究部准教授 田中 尚人
		8月19日（土）	09:00-12:00	3.0	社会教育施設の経営手法とネットワーク	社会教育施設の管理・運営と所管、今日的動向について歴史的に振り返り、その多様性について整理する。また、住民の学習ニーズを事業に生かし、参加に結びつけていく社会教育施設職員の専門性と、多様な施設・団体とのネットワークの手法について考える。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		8月19日（土）	13:00-16:00	3.0	町内会・自治会経営の技法	近年、地域住民の自治活動を支えてきた町内会や自治会の加入率の減少や高齢化が社会問題となっている。そこで、住民自治活動の重要性を改めて再認識しつつ、多世代が参加・参画しやすくなる新たな技法について学習する。	鹿児島大学法文学部准教授 金子 満
		8月19日（土）	16:00-17:30	1.5	学習成果の評価と活用の実際	社会教育における人々の学習成果を活用へと結びつけていくには、社会教育施設等の学習の場が様々な機関、団体等と具体的に必要性の高い目的を共有しつつ、連携を段階的に築いていくことが重要である。そこで、社会教育における学習成果の活用を「コミュニティ・ビジネス」と結びつけて考えるワークショップを実施し、生涯学習社会について展望する。	鹿児島大学法文学部准教授 金子 満

小 計 25.0

科目名	単位数	月 日	時 間	時間数	内容・テーマ	詳細	講師予定者の職・氏名
生涯学習支援論	2	9月14日(木)～9月24日(日)	オンデマンド	2.5	学習支援に関する教育の実際	多様な学習者を想定した、多様なオンライン・プログラムを提供している熊本市の「Kumamoto Education Week 2023」より、主体的に学ぶことの意義と、主体性が育つ学習支援・方法について考察する。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		9月21日（木）	09:00-12:00	3.0	社会教育における学習支援の理論	生涯学習やその支援が見直されるようになった社会的背景や、生涯学習社会がめざされていることを踏まえ、学習者の主体性を育む学習支援や学習支援者の必要性について考察する。また、生涯にわたる学びを支える教育の構造から社会教育の役割を捉え、学習支援者としての基礎的理解を深める。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		9月21日（木）	13:00-16:00	3.0	特別な支援を要する人々の学習と支援	障害者をはじめ、特別な支援を要する人々の学びは、学校教育を卒業したあとも、労働の場や地域社会においてどのように保障すべきか、基本的視座を提起する。障害者を支援の対象とみなすのではなく、ともに生き支え合える社会の実現に向けて、事例等やグループワークを通して考察する。	熊本大学大学院教育学研究科准教授 黒山 竜太
		9月21日（木）	16:00-17:30	1.5	学習プログラムのデザイン	プログラム企画の事前・事後の手順を理解して、学習プログラムを立案する。そのために、地域のニーズ、課題を析出し、課題を解決するアイデアを出し合い、形にしていくプロセスが重要となる。こうした一連の作業を通して、実際の社会教育現場で生かせるノウハウを習得する。	熊本大学大学院教育学研究科准教授 黒山 竜太
		9月22日（金）	09:00-12:00	3.0	学習支援方法としてのファシリテーション	教育現場では、学校をはじめ地域住民、PTA、NPO、企業などが連携して、地域づくりや人づくりに貢献することが求められている。また、対話的・主体的な学びであるアクティブ・ラーニングはこれからの世代の学びの基盤として、多様な主体との対話な場づくり等を通じて着実に広がっていく。このような様々な学習者の特性を理解し、その特性に応じた学習支援の技術であるファシリテーションの基礎を学ぶ。	加留部貴行事務所AN-BAI代表 加留部 貴行
		9月22日（金）	13:00-17:30	4.5	参加型学習とファシリテーション	参加型学習と効果的な学習プログラムの立案について、ファシリテーターとして役割が果たせるよう、その技能を実践およびワークショップを通じて体感しながら体系的に学ぶ。	加留部貴行事務所AN-BAI代表 加留部 貴行
		9月23日（土）	09:00-12:00	3.0	義務教育未修了者の学習権保障と支援	義務教育未修了者の現状と学習権保障に関する国際法や国内法を理解し、義務教育未修了者の学習権保障にむけた自分なりの展望をもつことができることをめざす。具体的には、夜間中学をめぐる今日的動向と九州の設置動向を紹介しつつ、課題と展望を考えていく。	熊本大学大学院教育学研究科教授 山城 千秋
		9月23日（土）	13:00-16:00	3.0	多文化共生社会に生きる人々の学習支援	九州においても外国人住民の増加が著しく、多文化共生に向けた学習と支援が急務となっている。そこで、外国人住民の課題を整理し、外国人住民の支援の実際について 熊本市国際交流会館の多文化共生推進事業を事例に基礎的理解を深める。	熊本市国際交流振興事業団常務理事 八木 浩光
		9月23日（土）	16:00-17:30	1.5	学習支援者になるためには	多文化共生社会づくりの課題を踏まえた上で、地域共生社会づくりをデザインするワークショップを実施し、学習支援者に求められる能力について考察する。	熊本市国際交流振興事業団常務理事 八木 浩光

小 計 25.0

総 計 50.0